

条件反射制御法実地研修内容（プログラム）

2016年5月1日改訂

	時間	実施内容
1日目	13:00 17:15	オリエンテーション（病棟） 職員紹介、病棟案内、電子カルテ及び鍵の取扱 研修生に対する筆記テスト実施（初級） 条件反射制御法についての説明 疑似物質の取扱、治療の流れの確認 S1、S2、S3の見学（S1～S3については内容を後記する） 終了
2日目	8:30 10:00 17:15	病棟カンファレンス参加 L1、L2、L3の見学（L1～L3については内容を後記する） 指導下で患者に対してS1、S2、S3の指導内容の実技 研修生が職員を対象にしてL2、L3の練習 終了
3日目	8:30 13:00 17:15 21:45～ 22:45	外来診療での維持ステージにおける働きかけの見学 指導下で患者に対してS1、S2、S3、L2、L3の実技 反応変化の把握および4日目・5日目の発表準備 研修生に対する筆記テスト実施（中級） 終了 希望のみ、看護による屯用疑似物質を用いた対応見学
4日目	8:30 10:00～ 17:15	病棟カンファレンス参加、反応変化の発表 指導下でのS1、S2、S3、L2、L3の実技 終了
5日目	8:30 10:00 11:30 12:00	病棟カンファレンス参加、反応変化の発表 研修生に対する実技テスト 修了証書授与 終了

※当日の進行状況等で、プログラム内容が変更されることがございます。

S および L の内容

S1 : 看護師が患者に説明書の提供とテストの予告を行う。

1. 各治療作業（基礎知識の修得、負の刺激、疑似、想像、維持、作文、屯用疑似物質）を実施するために必要な知識を記した資料を患者に渡す。
2. テストを予告する。

S2 : 看護師が患者に対するテスト、採点、指導、記録を反復する。

1. 予告したテストを患者に対して行う。
2. 採点を行う。患者の目の前で行う。下の指導も同時に行う。
3. 誤りについて患者に質問し、正解を導き出すよう、指導する。
4. 電子カルテに点数を記録する。
5. 上記を、必要に応じて反復する。

S3 : 看護師が作業回数表、観察表、動作の確認を行う。

1. 毎日の担当看護師が作業回数表を確認し、記録する。
2. プライマリナースが負の刺激動作を再現させ、円滑かどうかをみる。
3. プライマリナースが観察票を確認する。必要に応じて、指導する。

L1 : CRCT 担当者（医師または研究補助員）が CRCT を計画し、看護師に対して指示を出す。

1. 患者の問題行動、退院日を確認し、CRCT の計画を立て、CRCT 展開表に記入する。
2. 各作業ステージが進むように看護師等による説明・テストなどの指示方法を指示する。

L2 : CRCT 担当者が各ステージの当初に作業を患者に指導する。

1. 患者に対して、各作業と記録法を反復して指導する。
2. 疑似、想像、作文では反応（対促進、対中断、対負）を把握する。
3. 看護師にステージの進行を告げ、観察を指示する。

L3 : CRCT 担当者が各ステージで作業反復後の反応を把握する。

1. 負の刺激設定ステージでは後半に、動作時の反応を把握する。
2. 疑似、想像、作文では反応（対促進、対中断、対負）を把握する。
3. 次のステージへの移行を患者と職員に伝える。